

令和元年度における森林環境譲与税の用途について

高知市農林水産部 鏡地域振興課

1 森林環境譲与税の活用の効果

- (1) 森林の整備の促進
- ・森林経営管理法に基づく意向調査準備作業として、鏡地区の森林約68haの現況調査等を行った結果、意向調査が必要な森林約17haの抽出を行った。
 - ・平成29年度の台風により風倒木被害を受けた森林2.65ha（2カ所）が整備された。
- (2) 担い手の確保・人材育成
- ・緑の雇用による研修制度等で基礎的な技能を習得済みの技術職員を対象とした、より高度な技能・知識の習得に対する支援を行うことで、森林整備を担う人材の育成を図った。

2 森林環境譲与税の用途の内容

(1) 歳入 単位：千円

区分	金額
森林環境譲与税	32,070
運用益	1
計	32,071

(2) 歳出（用途内訳）

単位：千円

事業名	事業費		事業内容	事業実績	
	総額	財源内訳			
		R1森林環境譲与税			他の財源
森林経営管理事業	5,411	5,411	・森林経営管理制度に基づく意向調査準備として、森林の現況調査等を委託 ・森林所有者や相続人調査等のための臨時職員雇用（1名） ・台風による風倒木などの被害を受けた森林の整備に対する助成 ・高知市森林組合の技術職員育成に係る助成 ・令和3年度以降に実施を予定する森林経営管理制度に基づく森林整備等に備えた基金への積み立て	鏡地区68林班（68ha）について調査	
被害森林整備事業費補助金	599	599		被害森林：2.65ha（2カ所）を整備	
林業技能者育成支援事業費補助金	2,190	2,190		対象者：3名	
高知市森林環境整備基金	23,871	23,871			
計	32,071	32,071			